

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	廃棄物処理施設整備等基金積立事業			会計	款	項	目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	クリーンセンター				
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり		主管課長	糸井 正人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	廃棄物処理施設	意図	必要な基金を積立て、廃棄物処理施設の新設、改築、修繕を行う。
事業内容	廃棄物処理施設建設及び施設整備は、多額の資金が必要であることから、市の財政負担の平準化を図るため計画的な積立をするもの。			
事業開始から現在までの状況変化	平成4年度に施行された流山市廃棄物処理施設建設基金条例に従い、施設建設に係る積立を行ってきたが、平成29年第3回定例会流山市議会で同条例の一部改正を行い、改築や修繕等にも基金を充てることができるようにした。また、基金への積立が指定された寄附金額を追加し、広く市民等からの寄附金の受入を可能とする改正を行った。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	積立基金額	178	68	28,068	千円	↑↑↑	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						積立計画は、後期基本計画に位置付け計画的に実施してきた。廃棄物処理施設整備基金の目的を一部見直し、施設建設に限らず、施設の改築や修繕等も含めた基金とするとともに、ふるさと納税にも対応できるよう寄附金の受入れを可能となるよう改正した。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,942,229	3,499,676	31,423,014				
事業費(b)(円)		177,229	67,176	28,067,014				
うち一般財源		177,229	67,176	28,067,014				
職員給与費(c)(円)		3,765,000	3,432,500	3,356,000				
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	処理施設の安定的かつ継続的な稼働を実現させる計画的な積立を実施する。	③取組の課題	事業目的に合わせた計画的な積立を行う。
②今年度(H29)に実施した取組	廃棄物処理施設整備基金条例の改正を行い、施設の延命化を目的とする積立を含めた条例改正を実施した。	④今後(H30以降)の改善計画	ごみ焼却施設の延命化に必要な積立を行う。